



きくぐみだより (5歳児)



R4年5月

天気の良い日には、戸外に出て元気いっぱい体を動かして遊んでいるきく組さん。気候や湿度の変化に応じて衣服の調節をしたり、水分補給をしたりするなど、自分達で体調管理に気を付けようとする姿がみられます。きく組での生活が始まって、約2ヵ月。子ども達は新しい環境にも慣れ、友達と協力したり、時には思いがぶつかったりしながら日々いろんなことを経験しています。そんな子ども達の姿を紹介します。

「かたつむりの世話、楽しいな！」



昨年のきく組さんから引き継いだザリガニや園庭で見つけた小さなかたつむりの世話をしたり、観察したりする姿が見られます。かたつむりを見つけた友達が「かたつむりって何食べるんだろう？」と疑問に思ったことを声に出していると「図鑑に書いてあるかな」とすぐに調べ始める子がいました。今までの経験から図鑑で調べてみるといいことに気付いたようです。かたつむりの食べるものに興味をもった子達が「きゅうり食べるって」「にんじんもだよ」「たまごの殻だって」と図鑑を見ながら盛り上がっていました。次の日、家からきゅうりを持ってきた子が嬉しそうに「食べるかな～」とワクワクしながらえさをあげていました。食べやすいようにきゅうりの上にかたつむりを乗せてあげる姿も見られ、かたつむりのことを考えながら世話をしてくれたんだなと嬉しく思いました。

別の日、飼育ケースを覗いた子が「緑のうんちしてる」と気付き、「きゅうりを食べたから緑のうんちしたんやで！図鑑に書いてあった」と子ども達同士で思いを伝え合う姿が見られました。生き物の世話や観察を通しての発見や気付きにワクワク、ドキドキしたり、大切にしようとする気持ちが育っていることに成長を感じています。



「しっぽとり対決！」



昨年に引き続き、しっぽとりはみんなの大好きな遊びです。1対1でのしっぽの取り合いからチーム戦に遊びが変わってきました。チームに分かれて遊ぶときは、勝ち・負けがあります。勝つと嬉しい、負けると悔しい気持ちも芽生え、勝敗にこだわる姿も見られるようになってきました。悔しくて涙を流す場面もあり、保育者が「悔しいね、どうする？」と聞くと「もう1回やりたい」とリベンジし、遊びが続いていきます。また、

『作戦タイム』といってどうしたら勝てるかなとチームの友達と相談したり、協力したりする様子も見られます。逃げるコツや取るコツも掴み、動きが素早くなってきました。保育者も一緒に遊ぶのですが、しっぽを取られて悔しい思いをしています(笑)

「チューリップの球根掘り」

華やかな春を運んでくれていたチューリップも咲き終わり、来年もきれいな花が咲くように、球根を掘り出すことにしました。「葉っぱが枯れてきたら掘れるんだって」と本を見ながら子ども達に話をすると・・・球根を掘り出すことを楽しみに、葉っぱの様子を気にかけて見るようになりました。

球根掘りでは、保育者が「球根を傷つけないようにゆっくり土を掘ってね」と伝えると「球根出てきた！」「こっちにもあったよ！」と宝物を探すかのように優しく掘る姿が見られました。

